

# 「理想的な在宅医療を すすすための場所と介護力」

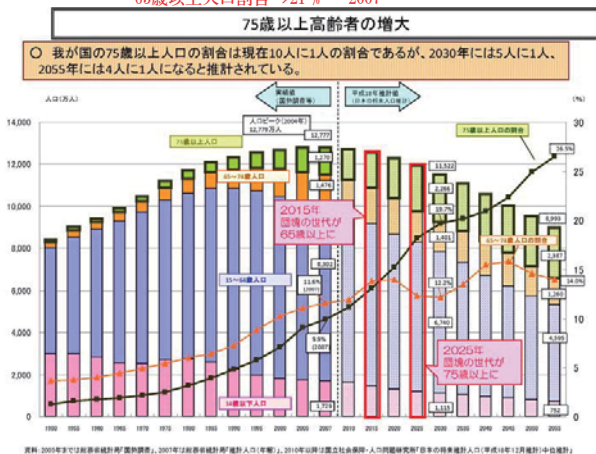
機能強化型在宅療養支援診療所  
運営開始から5か月の経験より

平成25年8月23日  
博士研究員 すぎうら医院 (島根県出雲市)  
杉浦弘明

- 超高齢化社会到来
- 地域包括ケアシステム
  - 住む
  - 理想的な在宅医療をすすすための場所と介護力
  - 機能強化型在宅療養支援診療所
- ITの利用 (電子カルテ連携、まめネット)
- 在宅医療における診療機器

## 超高齢化社会の到来

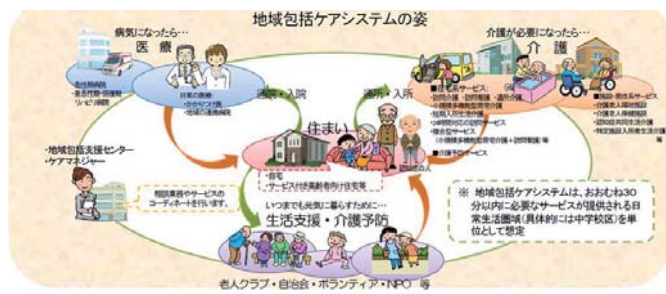
65歳以上人口割合 >21% ~2007



- 超高齢化社会到来
- 地域包括ケアシステム
  - 住む
  - 理想的な在宅医療をすすすための場所と介護力
  - 機能強化型在宅療養支援診療所
- ITの利用 (電子カルテ連携、まめネット)
- 在宅医療における診療機器

## 地域包括ケアシステム

2025年(団塊の世代が75歳以上)をめど  
重度な要介護状態(特に認知症増加)でも  
住み慣れた地域で人生の最期まで 自分らしい暮らしができるよう  
住まい・医療・介護・予防・生活支援が保険者(市町村・都道府県)により一体的に提供される。  
自助、互助 > 共助、公助  
自助 (民間、自己資金) 自分のことは自分で、自らの健康管理、民間サービス  
互助 (住民活動、NPO) ボランティア、住民活動、地方型  
共助 (介護保険)  
公助 (税金) 高齢者福祉事業 生活保護



厚生労働省 HPP2016http://www.ahw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hakushi/kaigo\_koureisha/chiki-hokutsu/

## 自宅で療養



家族の介護 (移動い 風呂ろ 排泄は 認知に 食事ごはん)  
+  
ケアマネジャー 又は 地域包括支援センター  
介護事業所(ホームヘルパー)  
訪問看護ステーション  
訪問診療(在宅支援診療所) 又は 外来通院

- 超高齢化社会到来
- 地域包括ケアシステム
  - 住む
  - 理想的な在宅医療をすすすための場所と介護力
  - 機能強化型在宅療養支援診療所
- ITの利用 (電子カルテ連携、まめネット)
- 在宅医療における診療機器

## 高齢者専用住宅に住む



サービス付き高齢者向け住宅

見回りなどの安否確認や  
生活相談サービスを提供する中間所得層向けの住宅。

外部の介護サービスを利用  
管轄 厚生労働省と国土交通省の共管

住宅を安く提供し、集合的・協力的な介護サービスを提供して介護保険で利益を創る  
ビジネスモデル



有料老人ホーム

特定施設：内部の介護サービス  
要介護高齢者3名に対して1人以上の介護看護スタッフ、要支援高齢者10名に  
対して1人以上の介護看護スタッフによって、介護サービスの提供。

住居型：外部の介護サービスを利用する

管轄 厚生労働省

- 超高齢化社会到来
- 地域包括ケアシステム
  - 住む
  - 理想的な在宅医療をすすめるための場所と介護力
  - **機能強化型在宅療養支援診療所**
- ITの利用（電子カルテ連携、まめネット）
- 在宅医療における診療機器

## 機能強化型在宅支援診療所

2012年診療報酬改定

- 1 所属する常勤医師が3名以上
- 2 過去1年間の緊急の往診実績5件以上
- 3 過去1年間の看取り実績2件以上

24時間365日体制

## すぎうら医院在宅診療実績

平成25年4月1日から8月22日

全訪問患者件数：33件

内訳

自宅：17件

高齢者専用住宅 11件（2か所）

看取り：4件

取りやめ：1件

本院の外来患者：10件

診療所からの紹介：2件

病院からの紹介：8件

訪問看護ステーションからの紹介：3件

サービス付き高齢者向け住宅からの紹介：10件

## 訪問風景 漁村



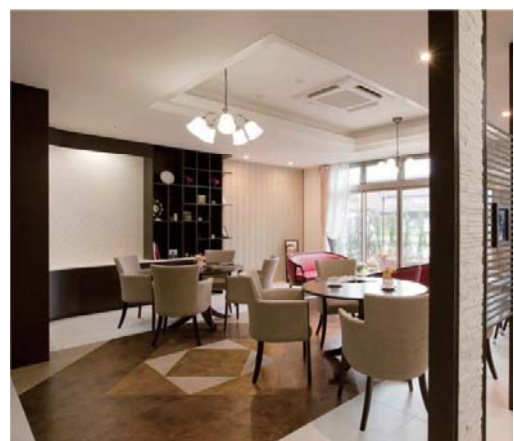
## 訪問風景 海辺の家の夕暮れ



## 訪問風景 サービス付き高齢者向け住宅



## 訪問風景 サービス付き高齢者向け住宅





一人部屋 サービス付き高齢者向け住宅



夫婦部屋 サービス付き高齢者向け住宅



在宅診療におけるITの活用  
 往診専用端末(Web, ポケットWifi)  
 連携医療機関の登録患者の相互閲覧機能



- 超高齢化社会到来
- 地域包括ケアシステム
  - 住む
  - 理想的な在宅医療をすすめるための場所と介護力
  - 機能強化型在宅療養支援診療所
- ITの利用 (電子カルテ連携、まめネット)
- 在宅医療における診療機器

iPadも利用



### 地域包括ケアシステムにおける 全県下医療情報ネットワーク(まめネット)の活用

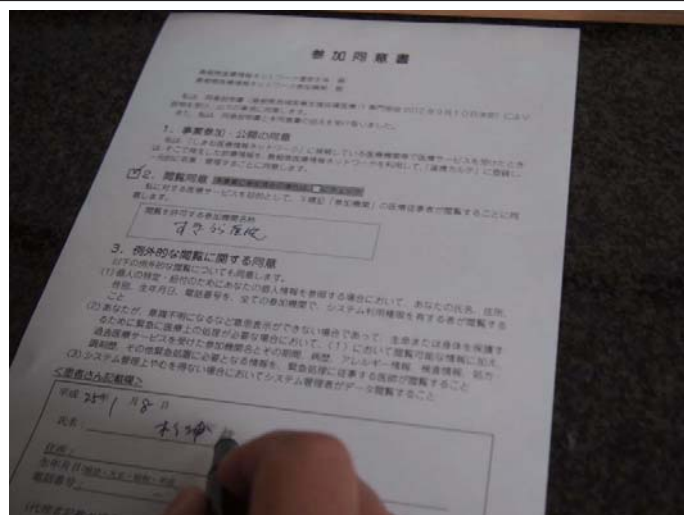
多職種が絡む地域包括ケアシステムには情報の一元化が有効

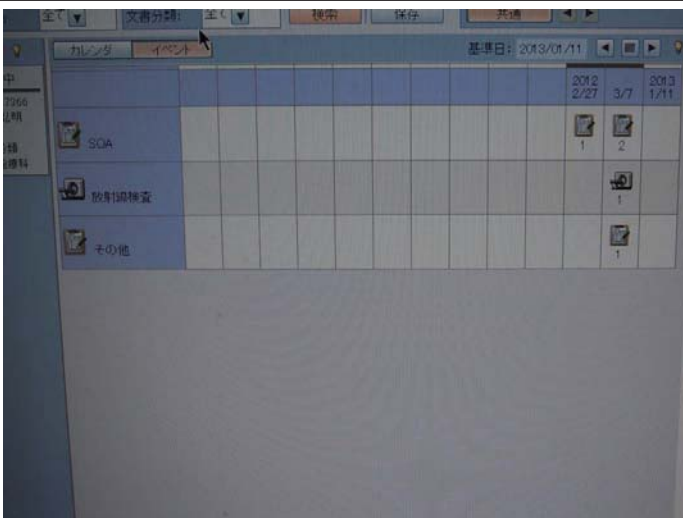


### まめネットの特徴

SS mixによる企画  
 ベンダフリーによる 参入障壁の撤廃  
 全県での運用

+  
 地域医療再生基金で運用  
 新しく HPKIでの運用





電子署名による 文章管理の迅速化、効率化（今月より全県運用開始）



処方せんの電子化、医薬連携（来年度より全県運用開始）

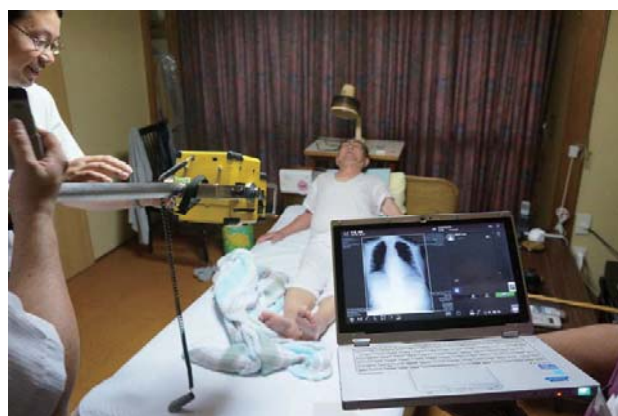
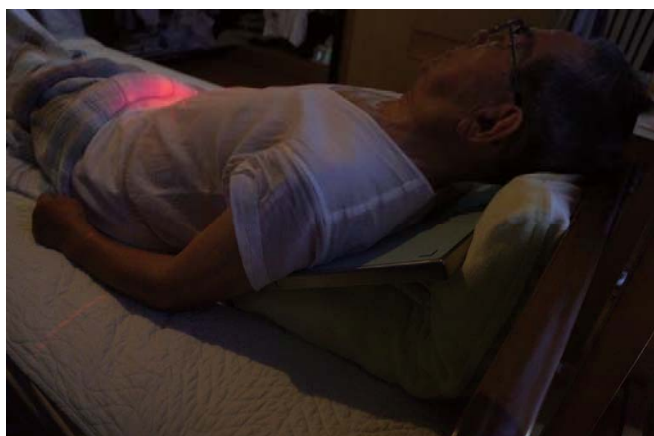




- 超高齢化社会到来
- 地域包括ケアシステム
  - 住む
  - 理想的な在宅医療をすすための場所と介護力
  - 機能強化型在宅療養支援診療所
- ITの利用 (電子カルテ連携、まめネット)
- **在宅医療における診療機器**

## ポータブル デジタルレントゲンシステム

在宅診療システムは災害現場でも使用可能



## ポケット型超音波診断装置



## 堅牢設計の高機能超音波診断装置



## 血液ガス分析装置



## 充電式生化学分析装置



電子カルテ用 PCを利用した USB型心電図



## まとめ1 理想的な在宅医療を すすためる場所と介護力

在宅医療の理想 : 住み慣れた自宅で家族とともに過ごす。

家族の介護力が必要。

訪問による介護サービス、看護、医療も移動時間を考えると非効率だが理想を追い求めるべき

次善として 高齢者専用住宅で集約的に 介護、看護、医療資源を投入

## まとめ2 地域包括ケアシステムと 在宅療養支援診療所

在宅医療における中心的な役割  
患者に対する窓口  
24 時間体制の往診  
訪問看護等との提供体制  
避けられない「死」を視野にいれた行動

## まとめ3 地域包括ケアシステムとIT

治療 ケアに貢献  
広域  
多くの職種  
タイムリー  
事務の省力化  
費用削減

ご清聴ありがとうございました。

芽が出たばかりの「まめネット」と  
すぎうら医院の在宅診療部  
成長して皆様のご健康に役立つよう  
見守ってください  
よろしく願いいたします。

